

2024年7月18日

芙蓉総合リース株式会社
avatarin 株式会社

芙蓉総合リースと ANA ホールディングス発のスタートアップである avatarin 株式会社との資本業務提携締結のお知らせ

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、ANA ホールディングス発のスタートアップである avatarin 株式会社（東京都中央区、代表取締役 CEO 深堀昂、以下「avatarin(株)」）が実施する第三者割当増資を引受け、資本業務提携（以下「本提携」）を締結したことをお知らせいたします。

avatarin(株)は、人が持つ様々なプロフェッショナルのスキルを AI 化して共有できる世界共通のプラットフォームを構築し、そこに接続された多種多様なロボットやモビリティに「アバターインする」ことで、だれもが、いつでも、どこでも助け合える世界となることを目指しています。

その世界の実現に向けて、「遠隔から AI 化」という独自の手法を用いて人からプロフェッショナルスキルを学んで開発した AI と、これを搭載するコミュニケーション AI ロボット「newme（ニューミー）」を活用して、「人」と「スキル」を繋ぎ人材不足を解消していきます。

芙蓉リースは、avatarin(株)独自の技術を活用した社会課題解決のビジョンに賛同し、事業共創を目的としたパートナーシップ関係の構築に向けて資本業務提携の締結に至りました。

◆avatarin(株)独自の手法と技術

「遠隔から AI 化」という独自の手法を用いて、人と AI が共存する業界特化型 AI サービスの開発を目指しています。「遠隔から AI 化」とは、コミュニケーション AI ロボット「newme（ニューミー）」を遠隔操作して、見て、聞いて、話して、動き回ってサービスを提供する過程で、個人が特定できないような形で映像や音声、制御などの複合的なデータ（マルチモーダルデータ）を同時に記録し、それを元に AI 学習を行うことです。

この「遠隔から AI 化」の実現を可能にするための鍵となる技術が avatar core®です。独自開発したクラウド通信プロトコルと専用基板などを含むマルチモーダル AI モジュールであり、大容量かつ多種多様なデータの超低遅延伝送や蓄積、エンドツーエンド(end-to-end)での暗号化を可能にします。



芙蓉リースグループは、2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しております。

デジタルテクノロジーの進化により社会環境が大きく変化するなか、高度化・複雑化するお客様の経営課題に対し、パートナー企業との連携による先進的な商品・サービスを提供することで、課題解決と持続的な成長に貢献してまいります。

本提携により、芙蓉リースと avatarin(株)が有する技術、知見、サービスなどを掛け合わせることで、生成 AI やロボティクスをはじめとする技術の研究・開発とその技術を搭載した製品の普及促進を加速させ、人材不足などの社会課題の解決と豊かな社会の実現に貢献してまいります。

以上